

日本小児科学会医療安全委員会主催

第4回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日時：2016年12月10日（土）13：30～17：00

開催場所：昭和大学江東豊洲病院

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

参加費：11,000円（1施設あたり）

参加者数：26名（9施設）

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師9名、看護師10名、放射線技師7名

参加施設：日本大学医学部附属板橋病院、筑波大学附属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、
帝京大学医学部附属病院、自治医科大学とちぎ子ども医療センター、国立成育医療研究センター、
済生会川口総合病院、公立昭和病院、戸田中央総合病院

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（50分）：シミュレーション実習（蘇生人形を用いた実践型訓練と振り返り）

第3部（70分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（45分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表、全体で意見交換）

コースの実際：第1部は全員にレクチャー形式、第2と3部は3つのグループ（大学病院・こども病院+大学病院・総合病院）に分かれてシミュレーションとワークショップ形式、第4部は全員でのディスカッション形式で行った。シミュレーションは、鎮静薬による呼吸抑制やアナフィラキシーなどの症例を通して、課題や解決策を他施設・多職種間で協議する場とした。後半のワークショップでは各施設で改善したい課題を選び、コース後に具体的にどのような計画で実施していくかアクションプランの作成に取り組んだ。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。コースを通して、他施設の現状を知ることによって自施設の強みや弱みが明らかになり新たな気づきを得る機会を提供した。またアクションプランを通して各施設の課題をどのように解決するか、具体的な計画案を立案・協議する機会を設けた。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.6（最低1-最高6）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.8（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.8（同）と好評であった。

今後の課題とコースの定期開催に向けて：

本コース受講後の参加者の行動変容を評価する。コース中に作成したアクションプランの追跡調査を実施予定である。今回のコースでは定期開催に向けて新たなファシリテーターを養成を開始した。